

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学 校 法 人 明 治 薬 科 大 学

## (2) 大学名

明 治 薬 科 大 学

## (3) 大学の位置

〒204-8588  
東京都清瀬市野塩二丁目522番1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	( スミヨシ ヨシミチ ) 住 吉 義 通 (平成15年11月)	( クボ アキノリ ) 久 保 陽 徳 (平成23年11月)	(任期満了) (平成23年11月19日) (23)
学 長	( クボ アキノリ ) 久 保 陽 徳 (平成16年4月)	( イシイ ケイタロウ ) 石 井 啓 太 郎 (平成24年4月)	(任期満了) (平成24年4月1日) (24)
研究科長	( イシイ ケイタロウ ) 石 井 啓 太 郎 (平成21年4月)	( カワサキ トモミ ) 川 崎 知 己 (平成24年4月)	(任期満了) (平成24年4月1日)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学研究科 生命創薬科学専攻 博士課程(後期)  博士(薬科学)	3年	5人	15人	基礎となる学部等 薬学部 生命創薬科学科 薬学研究科 生命創薬科学専攻 博士課程(前期)

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成24年度 春季入学	その他の学期		
A 入学定員	5人 ( - ) [ - ]	-	0.60倍	
志願者数	3 ( 1 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
受験者数	3 ( 1 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
合格者数	3 ( 1 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
B 入学者数	3 ( 1 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	0.60			

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度 平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 3	[ - ] -	
2年次	/		
3年次	/		
計	[ - ] 3		

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	3人	0人	平成24年度	0人	-人	該当なし	0%
合計	3人	0人					0%

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学研究科 薬学専攻博士課程  博士(薬学)	4年	5人	20人	基礎となる学部等 薬学部 薬学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成24年度 春季入学	その他の学期		
A 入学定員	5人 ( - ) [ - ]	-	1.20倍	
志願者数	7 ( 6 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
受験者数	7 ( 6 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
合格者数	7 ( 6 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
B 入学者数	6 ( 6 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	1.20			

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度 平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 6	[ - ] -	
2年次	/		
3年次	/		
4年次	/		
計	[ - ] 6		

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	6人	0人	平成24年度	0人	-人	該当なし	0%
合計	6人	0人					0%

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<薬学研究科 生命創薬科学専攻 博士課程（後期）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	学術論文作成・発表演習	1~3通	1			9 10	4	4		6 5	学長就任に伴ない教授1名が、また、異動により助教1名が担当から外れた。また、適任であると判定し、教員2名を担当に追加した(24) 担当 小林 健一(助教) 横屋 正志(助教)
	学術論文総説講演Ⅱ	1~3通	2			9 10	4	4		6 5	学長就任に伴ない教授1名が、また、異動により助教1名が担当から外れた。また、適任であると判定し、教員2名を担当に追加した(24) 担当 小林 健一(助教) 横屋 正志(助教)
	生命創薬科学課題研究Ⅱ	1~3通	1	2		9 10					学長就任に伴ない教授1名が担当から外れた。

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

### (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	0	0	3	3	0	0	3	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\quad \quad \quad}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<薬学研究科 薬学専攻 博士課程>

### (1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総 合 科 目	学術論文講読・演習	1~4通	4			14 <del>15</del>	6 <del>7</del>	5	2 <del>0</del>		教授2名が退職した。適任の助教1名を採用した(23) 担当 庄野あい子(助教) 准教授1名を教授に昇任させた。適任の助教1名を採用した(24) 担当 兎川 忠靖(教授) 月村 考宏(助教)
	学術論文作成特論	3前	1			14 <del>15</del>	6 <del>7</del>	5	2 <del>0</del>		教授2名が退職した。適任の助教1名を採用した(23) 担当 庄野あい子(助教) 准教授1名を教授に昇任させた。適任の助教1名を採用した(24) 担当 兎川 忠靖(教授) 月村 考宏(助教)
	研究計画立案(リサーチプロポーザル)演習	1前	1			14 <del>15</del>	6 <del>7</del>	5	2 <del>0</del>		教授2名が退職した。適任の助教1名を採用した(23) 担当 庄野あい子(助教) 准教授1名を教授に昇任させた。適任の助教1名を採用した(24) 担当 兎川 忠靖(教授) 月村 考宏(助教)
	教育・研究指導演習	1~4通	4			14 <del>15</del>	6 <del>7</del>	5	2 <del>0</del>		教授2名が退職した。適任の助教1名を採用した(23) 担当 庄野あい子(助教) 准教授1名を教授に昇任させた。適任の助教1名を採用した(24) 担当 兎川 忠靖(教授) 月村 考宏(助教)
	学術発表演習	3~4通	2			14 <del>15</del>	6 <del>7</del>	5	2 <del>0</del>		教授2名が退職した。適任の助教1名を採用した(23) 担当 庄野あい子(助教) 准教授1名を教授に昇任させた。適任の助教1名を採用した(24) 担当 兎川 忠靖(教授) 月村 考宏(助教)
	海外研修 I	2後	5			1					
	海外研修 II	3前	5			1					
	実践英語 I (TOEFL, TOEIC)	1後	1			1					
	実践英語 II (TOEFL, TOEIC)	2前	1			1					

医療薬学分野特論・演習	薬物治療学特論 I	1前	1	1						
	薬物治療学演習 I	1前	1	1						
	薬物治療学特論 II	2前	1	1	1					
	薬物治療学演習 II	2前	1	1	1					
	病態生理学特論	1前	1	1						
	病態生理学演習	1前	1	1						
	薬剤疫学特論	2前	1	1			1			適任の助教1名を採用した(23) 担当 庄野あい子(助教)
	薬剤疫学演習	2前	1	1			1			適任の助教1名を採用した(23) 担当 庄野あい子(助教)
	薬物動態学特論	2後	1	1				1		
	薬物動態学演習	2後	1	1				1		
	薬剤学特論	2前	1	2	1	1				教授の退職に伴ない、教授1名の担当を置いた(24) 担当 庄司 優(教授)
	薬剤学演習	2前	1	2	1	1				教授の退職に伴ない、教授1名の担当を置いた(24) 担当 庄司 優(教授)
医薬品情報学特論	1後	1	1				1			
医薬品情報学演習	1後	1	1				1			
基礎薬学分野特論・演習	病態微生物学・免疫学特論	2前	1	2	2					
	病態微生物学・免疫学演習	2前	1	2	2					
	衛生科学特論	1後	1	1	1					
	衛生科学演習	1後	1	1	1					
	分析化学特論	1後	1	2	0 +	1	1			教授1名が退職した。准教授1名を教授に昇任させた。また、適任の助教1名を採用した(24) 担当 兎川 忠靖(教授) 月村 考宏(助教)
	分析化学演習	1後	1	2	0 +	1	1			教授1名が退職した。准教授1名を教授に昇任させた。また、適任の助教1名を採用した(24) 担当 兎川 忠靖(教授) 月村 考宏(助教)

基礎薬学分野特論・演習	天然薬物学特論	2後		1		1		1				
	天然薬物学演習	2後		1		1		1				
	分子病態学特論	1前		1		1		1				
	分子病態学演習	1前		1		1		1				
	薬学課題研究	1~4通	20					14 <del>15</del>				教授2名が退職した。准教授1名を教授に昇任させ、担当とした(24) 担当 兎川 忠靖(教授)

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	29	0	34	5	29	0	34	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\quad \quad \quad}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	65,667㎡	0㎡	0㎡	65,667㎡			
	運 動 場 用 地	13,248㎡	0㎡	0㎡	13,248㎡			
	小 計	78,915㎡	0㎡	0㎡	78,915㎡			
	そ の 他	3,677㎡	0㎡	0㎡	3,677㎡			
	合 計	82,592㎡	0㎡	0㎡	82,592㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		50,293㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	50,293㎡ (0㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設	大学全体		
	31室	8室	105室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	生命創薬科学専攻			10 室				
	薬学専攻			15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	生命創薬科学専攻 および 薬学専攻	109,600 [16,941] (97,056 [15,866])	9,100 [4,972] (5,715 [5,556])	8,530 [5,300] (5,114 [5,112])	1,845 (1,568)	1,850 (1,764)	5,548 (5,548)	
	計	109,600 [16,941] (97,056 [15,866])	9,100 [4,972] (5,715 [5,556])	8,530 [5,300] (5,114 [5,112])	1,845 (1,568)	1,850 (1,764)	5,548 (5,548)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	1,595㎡		320席		169,667冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	1,373㎡							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	1,100千円	1,100千円	図書購入費	44,200千円	44,200千円	44,200千円
	共同研究費等	85,000千円	85,000千円	設備購入費	42,500千円	42,500千円	42,500千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		680千円	680千円	680千円	680千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			寄付金、補助金、収益事業からの寄付金					

(注)・届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	明治薬科大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入 学 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
薬学研究科									
薬学専攻博士課程(後期)	3	—	—	—	博士 (薬学)	—	昭和52年度	東京都清瀬市野塩 2丁目522番1	平成24年4月1日より 学生募集停止
臨床薬学専攻博士課程(後期)	3	—	—	—	博士 (臨床薬学)	—	平成8年度		
薬学研究科									
生命創薬科学専攻 博士課程(前期)	2	20	—	40	修士 (薬科学)	1.70	平成22年度	東京都清瀬市野塩 2丁目522番1	
薬学部									
薬学科	6	300	若干名	1,500	学士 (薬学)	1.07	平成18年度	東京都清瀬市野塩 2丁目522番1	
生命創薬科学科	4	60	若干名	240	学士 (薬科学)	1.13	平成18年度		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科(AC対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<薬学研究科 生命創薬科学専攻 博士課程（後期）>

### (1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	石井 啓太郎	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ 生命創薬科学課題研究Ⅱ			後任未定			平成24年4月、学長就任に伴ない、大学院担当を辞任（24） なお、後任の大学院研究科長は、川崎知己教授が就任。
専	教授	大石 一彦	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ 生命創薬科学課題研究Ⅱ						
専	教授	川崎 知己	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ 生命創薬科学課題研究Ⅱ						
専	教授	古源 寛	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ 生命創薬科学課題研究Ⅱ						
専	教授	齋藤 直樹	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ 生命創薬科学課題研究Ⅱ						
専	教授	佐藤 準一	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ 生命創薬科学課題研究Ⅱ						
専	教授	高波 利克	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ 生命創薬科学課題研究Ⅱ						
専	教授	高橋 邦夫	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ 生命創薬科学課題研究Ⅱ						
専	教授	長岡 博人	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ 生命創薬科学課題研究Ⅱ						
専	教授	長浜 正巳	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ 生命創薬科学課題研究Ⅱ						
専	准教授	小山 清隆	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ						
専	准教授	杉田 隆	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ						
専	准教授	杉山 重夫	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ						
専	准教授	菱沼 滋	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ						
専	講師	高取 薫	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ						
専	講師	高取 和彦	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ						



専	講師	野地 匡裕	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ						
専	講師	樋口 和宏	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ						
専	助教	飯田 克巳	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ	専	助教	小林 健一 (35)	平成24年5月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ	平成24年5月、飯田助教は所属研究室の異動に伴い、大学院担当を辞任し、後任として小林助教を採用(24)
専	助教	石田 洋一	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ						
専	助教	小川 泰弘	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ						
専	助教	天竺桂 弘子	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ						
専	助教	林 賢	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ						
					専	助教	横屋 正志 (36)	平成24年4月	学術論文作成・発表演習 学術論文総説講演Ⅱ	平成24年4月、各科目の専門分野の充実を図るため、担当教員を補充(24)

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

- なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・年齢は、「**認可時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成24年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
  - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## (2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
10	13	23	0	11	12	23	0	
( 11 )	( 12 )	( 23 )	( 0 )	[ +1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	石井 啓太郎	久保陽徳前学長の任期満了に伴う学長辞任。
2	助教	飯田 克巳	特定部門の担当教員が定年を控えており、その後任として異動することとなり、大学院担当を辞任する。

- (注) ・ 届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

上記2名の教員が指導を担当する博士課程（後期）学生はいないため、直接の影響はない。  
なお、上記教員の異動等は、学内報により学生に周知している。

- (注) ・ 上記（3）の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

5 教員組織の状況

<薬学研究科 薬学専攻 博士課程>

(1) 担当教員表

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	赤沢 学	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 薬剤疫学特論 薬剤疫学演習 薬学課題研究						
専	教授	池田 玲子	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 病態微生物学・免疫学特論 病態微生物学・免疫学演習 薬学課題研究						
専	教授	石井 一行	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 衛生科学特論 衛生科学演習 薬学課題研究						
専	教授	石橋 賢一	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 病態生理学特論 病態生理学演習 薬学課題研究						
専	教授	越前 宏俊	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 実践英語Ⅰ (TOEFL, TOEIC) 実践英語Ⅱ (TOEFL, TOEIC) 薬物治療学特論Ⅰ 薬物治療学演習Ⅰ 薬学課題研究						

専	教授	岡田 嘉仁	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 天然薬物学特論 天然薬物学演習 薬学課題研究						
専	教授	岸野 吏志	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 医薬品情報学特論 医薬品情報学演習 薬学課題研究						
専	教授	櫻庭 均	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 薬剤疫学特論 薬剤疫学演習 薬学課題研究						
専	教授	庄司 優	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 薬物治療学特論Ⅱ 薬物治療学演習Ⅱ 薬学課題研究						
専	教授	高橋 晴美	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 薬物動態学特論 薬物動態学演習 薬学課題研究						
専	教授	西川 朱實	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 病原微生物学・免疫学特論 病原微生物学・免疫学演習 薬学課題研究						
専	教授	松田 兆史	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 分析化学特論 分析化学演習 薬学課題研究	専	教授	兔川 忠靖 (52)	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 分析化学特論 分析化学演習 薬学課題研究	平成24年4月、松田兆史教授の退職 に伴ない、後任として教授に就 任。

専	教授	毛利 公則	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 薬剤学特論 薬剤学演習 薬学課題研究							前任者が平成24年3月をもって退職し、後任は平成24年7月に就任予定。
専	教授	本島 清人	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 分子病態学特論 分子病態学演習 薬学課題研究							
専	教授	吉田 久博	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 薬剤学特論 薬剤学演習 薬学課題研究							
専	准教授	池上 洋二	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 薬剤学特論 薬剤学演習							
専	准教授	石橋 芳雄	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 病態微生物学・免疫学特論 病態微生物学・免疫学演習							
専	准教授	小笠原 裕樹	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 衛生科学特論 衛生科学演習							
専	准教授	兎川 忠靖	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 分析化学特論 分析化学演習							平成24年4月、松田兆史教授の後任として教授に就任。
専	准教授	東 恭一郎	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 分子病態学特論 分子病態学演習							

専	准教授	松井 勝彦	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 病態微生物学・免疫学特論 病態微生物学・免疫学演習						
専	准教授	三田 充男	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 薬物治療学特論Ⅱ 薬物治療学演習Ⅱ						
専	講師	植沢 芳広	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 薬剤学特論 薬剤学演習						
専	講師	大野 恵子	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 医薬品情報学特論 医薬品情報学演習						
専	講師	鈴木 俊宏	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 分析化学特論 分析化学演習						
専	講師	花田 和彦	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 薬物動態学特論 薬物動態学演習						
専	講師	馬場 正樹	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 天然薬物学特論 天然薬物学演習						
					専	助教	庄野 あい子 (38)	平成24年4月	学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 薬剤疫学特論 薬剤疫学演習	平成24年4月、各科目の専門分野の 充実を図るため、担当教員を補充 (24)

									学術論文講読・演習 学術論文作成特論 研究計画立案(リサーチ プロポーザル)演習 教育・研究指導演習 学術発表演習 分析化学特論 分析化学演習	平成24年4月、各科目の専門分野の 充実を図るため、担当教員を補充 (24)

- (注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・年齢は、「**認可時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
15	12	27	0	14	13	27	0	
( 14 )	( 13 )	( 27 )	( 0 )	[ +1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	松田 兆史	平成24年3月31日をもって定年退職
2	教授	毛利 公則	平成24年3月31日をもって定年退職

- (注) ・ 届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

上記2名の教員が指導を担当する博士課程学生はいないため、直接の影響はない。  
なお、上記教員の退職等は、学内報により学生に周知している。

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。



## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (24年5月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<薬学研究科 生命創薬科学専攻 博士課程（後期）>

<薬学研究科 薬学専攻 博士課程>

### （1）設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
施設・設備 図書館 閲覧座席数320席	平成24年6月に本学図書館の座席数を47席増やし367席とし、学生の学習環境の更なる改善を図る

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### （2）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD委員会、大学院FD委員会</p> <p>関係規定： 明治薬科大学学部学則 （教育内容等の改善） 第12条の3 本学は、教育内容及び授業方法の改善・開発、教員の資質向上を図るため、組織的な研修・研究活動（ファカルティ・ディベロップメント）を行うものとする。 2 前項の活動を行うため、委員会を設置するものとし、委員会に関する規程は、別に定める。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 全体会議は年に2、3回開催し、研修会前は少人数の実施ワーキンググループを組織している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 FD研修会の内容、授業改善への方策など</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業改善のFD研修会</li> <li>・ 授業評価アンケート</li> </ul> <p>b 実施方法 授業改善のFD研修会（第1部講演会、第2部ワークショップ）</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 平成21年度FD研修会（平成22年3月 9日実施、85%参加） 平成22年度FD研修会（平成23年3月 9日実施、96%参加） 平成23年度FD研修会（平成24年3月14日実施、96%参加）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 授業評価アンケート後、教員から学生へのコメントを掲示し、教員の授業改善への意識改革に役立っている。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 実施有。原則として、担当教員の前期または後期の最後の担当日に実施している。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 アンケート結果は担当教員に通知し、学生の自由記述や意見に対する教員のコメントは適宜掲示して学生に公開している。</p>
---

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
設置の趣旨・目的に沿った授業、演習が進められており、それに合致した人材が養成できる状況にある。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期  
・平成22年3月25日 公表
- b 公表方法  
・大学ホームページ上に公開  
・平成23年3月に自己点検・評価報告書を刊行し、薬系大学等に各1冊を送付
- ③ 認証評価を受ける計画  
・本年度中の計画なし

- (注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 ( 有 )
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成25年1月までに公表を予定 )